

**第484回 11月26日開催  
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕                    大村 英昭  
倉光 弘己                木下 明美  
櫻井 美幸                森 輝彦  
黒田 勇（書面参加）  
深井 麗雄（書面参加）

**テレビ衆院選開票特別番組**

**「票決！ライブ2003」**

**第1部 第2部**

**03年11月9日（日）午後7時59分～午前0時 放送**

**\*荒巻委員**

選挙報道は台風に似ていると思った。国政の大きな変わり目になるかもしれない台風がやって来て、午後11時頃から1時間位の間最大瞬間風速を記録する。選挙報道ではその1時間が勝負所で、新しい情報を次から次へと入れなければいけないのに、用意された映像に頼り過ぎた面があってイライラ感が募ってしまった。

**\*倉光委員**

選挙報道にワイドショー的な要素を取り入れるのも1つの手法だと思うが、視聴者の興味の対象というのは様々で、報道という観点から言えば、あの形で視聴者を最後まで引き止められただろうか。また、選挙にまつわる興味深い話も問題提起だけに終らせず、きちんとフォローしてほしかった。

**\*木下委員**

ローカル主体の選挙番組としては、差別化できたのではないか。報道する側が課題をきちんと持った上に、焦点の絞り方も良く興味深く見ることができた。「ちちんぷいぷい」のメンバーの井戸端会議風の話も、視聴者の目線に立っていて良かったと思う。

**\*櫻井委員**

今回の選挙報道は各局共に、最後まで出口調査に引きずられてしまったためか、お祭り騒ぎをとおただけという印象は否めなかった。ローカル部分は、人気番組のコンセプトを持ち込んで差別化しようという狙いは成功していたと思うが、全国レベルの情報などに関しては物足りなさを感じた。

**\*大村副委員長**

厳しい言い方をすれば、各局共に勝手な事前調査をして勝手に踊った挙げ句、最後

はシュンとなったということではないか。関西のローカル色を出す意味では、いろいろ話題の多い野中広務さん、土井たか子さん、塩じいの3人にもっとスポットを当ててもよかったと思う。

#### **\* 森委員長**

今回の選挙特番は、各局共に最終獲得議席の予測で冒頭から誤りを犯した。出口調査の結果を基にしたものだが、視聴率不正操作問題に象徴されるように、数字に頼り過ぎる体質を根本から見直す必要があるのではないか。また、視聴者に政権交代のドラマを期待させた点でも問題が残ったと言える。

#### **\* 黒田委員（書面）**

ローカリティーとバラエティー化の両面で成功したと思う。ローカリティーで言えば、事前の取材力や中継の質と量で他局に勝っていた。バラエティー化の面では、「ちんぷいぷい」のメンバーのトークが選挙をより身近なものにしていた。関西ローカルとして、十分に総選挙の全体像に迫れたと思う。

#### **\* 深井委員（書面）**

東京と大阪のスタジオが同時進行なので、内容的に東京とダブる場面が多かった。そんな中で、ローカル色の強い「関西の激戦区」などのコーナーは良かったが、逆に地域性が強い分全国的な視点に欠けていたと思う。東京と大阪のすみわけをいかにするかが課題ではないか。

日本テレビの「視聴率不正操作問題」について、編成局長が経過報告をした。

11月20日に高知市で開かれた「JNN系列近畿・中四国合同番組審議会」について、正副委員長が報告した。